

2024年9月10月度

キミスカ学生アンケート速報

アンケート概要①

調査目的：26卒学生の就活状況について

対象：2026年卒『キミスカ』登録ユーザー

地域：全国

調査方法：WEBアンケート

有効回答数：2026年卒：101件

実施期間：2024年9月11日～9月18日

アンケート概要②

調査目的：26卒学生のインターン参加状況について

対象：2026年卒『キミスカ』登録ユーザー

地域：全国

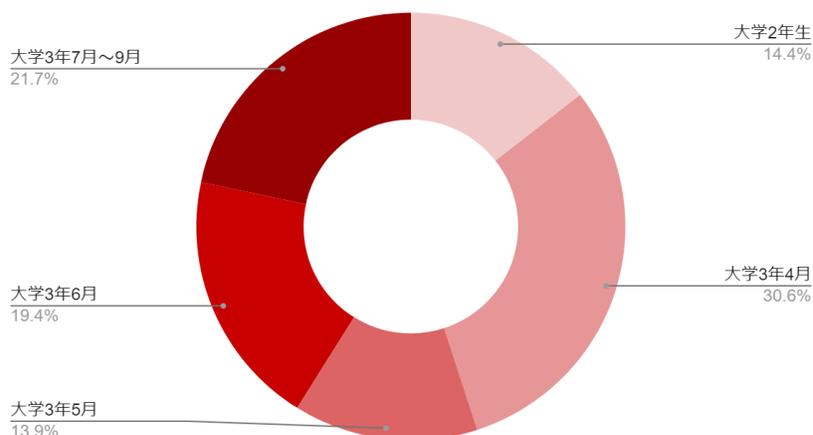
調査方法：WEBアンケート

有効回答数：2026年卒：180件

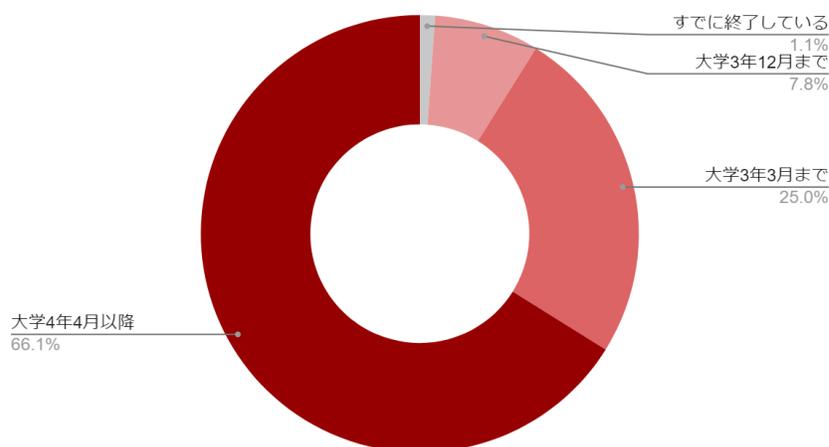
実施期間：2024年9月26日～10月10日

■26卒就活状況について

就活を開始した時期を教えてください。



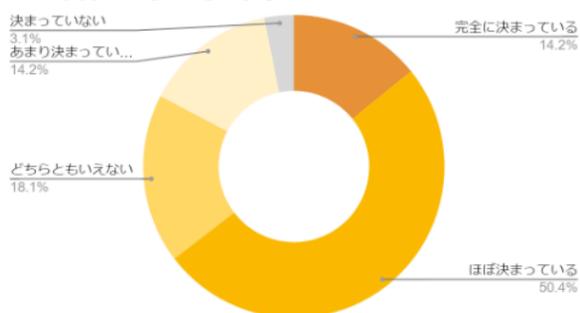
就活の終了予定時期を教えてください。



	大学2年生	大学3年4月	大学3年5月	大学3年6月	大学3年7月	大学3年8月	大学3年9月
すでに終了している	0	2	0	0	0	0	0
大学3年9月	0	1	0	0	0	0	0
大学3年11月	0	1	0	0	0	0	0
大学3年12月	3	2	1	3	1	2	0
大学3年1月	0	0	1	2	1	1	0
大学3年2月	3	0	0	1	1	0	0
大学3年3月	7	10	6	6	1	3	2
大学4年4月以降	13	39	17	23	8	8	11

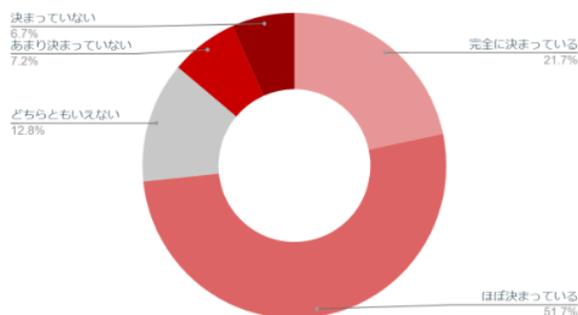
78.3%の学生が夏インターンが開催される前の大学3年6月までに就活を開始していることがわかりました。就活終了予定時期は「大学4年4月以降」が最も多く66.1%となりました。早く開始している学生が早く終えたいと考えているわけでもなく、あくまでも大手企業含め内定が出揃うタイミングまで続けるという考えの学生が多いことがわかります。

志望業界は決まっていますか？



2024年6月 n=127

現在、志望業界は決まっていますか？

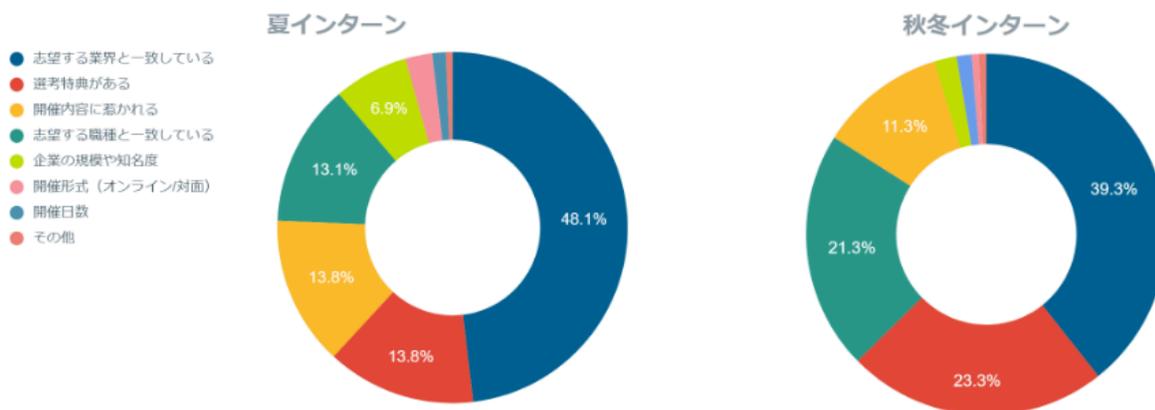


2024年9月

志望業界について「完全に決まっている」「ほぼ決まっている」合わせて**73.4%**がどこかしらの業界に焦点を置いて就活を始めていることがわかりました。

同年6月に聞いたアンケートよりも「完全に決まっている」が7.5%増え、「どちらともいえない」「あまり決まっていない」「決まっていない」が22.1%減少していることから、夏インターンの参加を経て志望業界が固まってきたことが予想できます。

インターンに参加する企業を選ぶ基準に最も当てはまるものを教えてください。

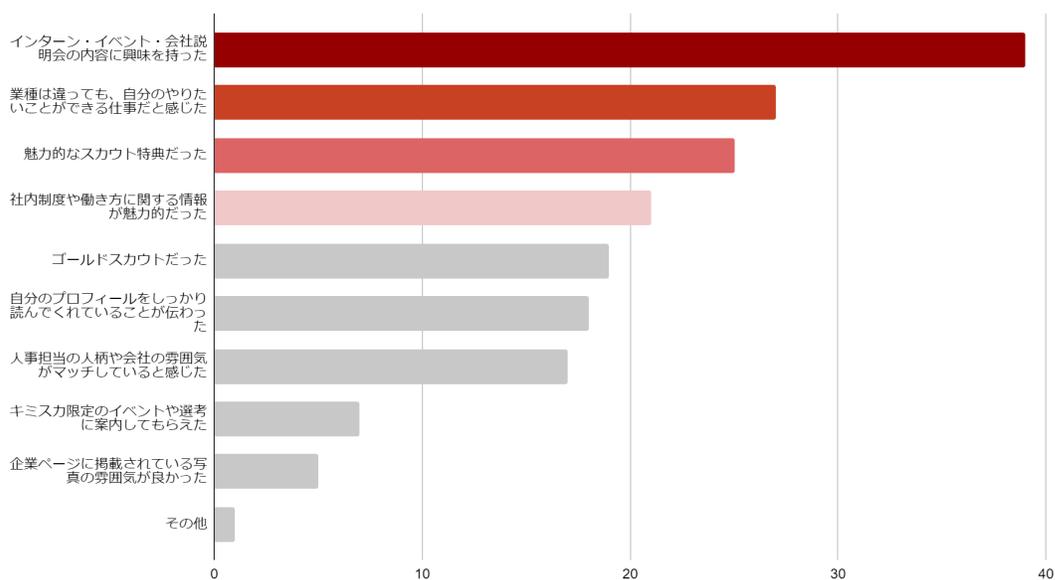


インターンに参加する企業を選ぶ基準も、「志望業界と一致している」が圧倒的に多い結果になっています。夏から秋への変化としては、秋冬インターンのほうが「志望する職種と一致している」と「選考特典がある」を選ぶ学生が増えています。

秋冬インターンは、夏より「希望との一致」を重視する傾向にあるようです。

また、時期的にも選考への意識が高まっていることから、選考に有利になるものがあると魅力を感じる学生が増えています。

志望業界以外の企業にエントリーした理由を教えてください。（3つまで回答可）

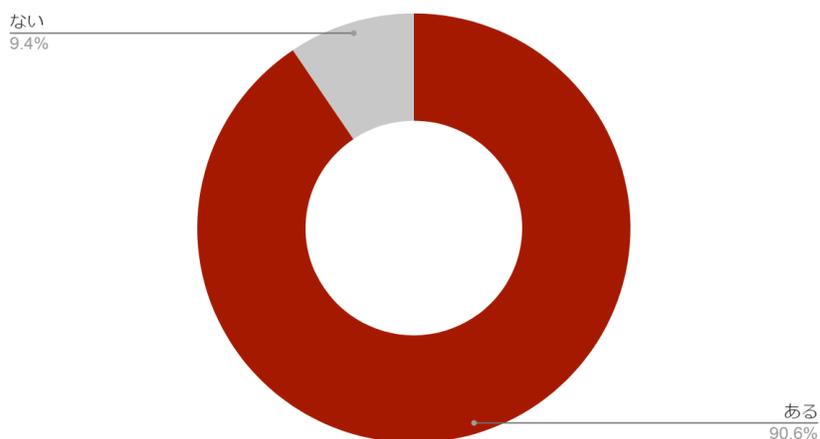


志望業界以外の企業にエントリーする場合は「インターン・イベント・会社説明会の内容に興味を持った」「業種は違っても、自分のやりたいことができる仕事だと感じた」「魅力的なスカウト特典だった」「社内制度や働き方に関する情報が魅力的だった」が上位でした。

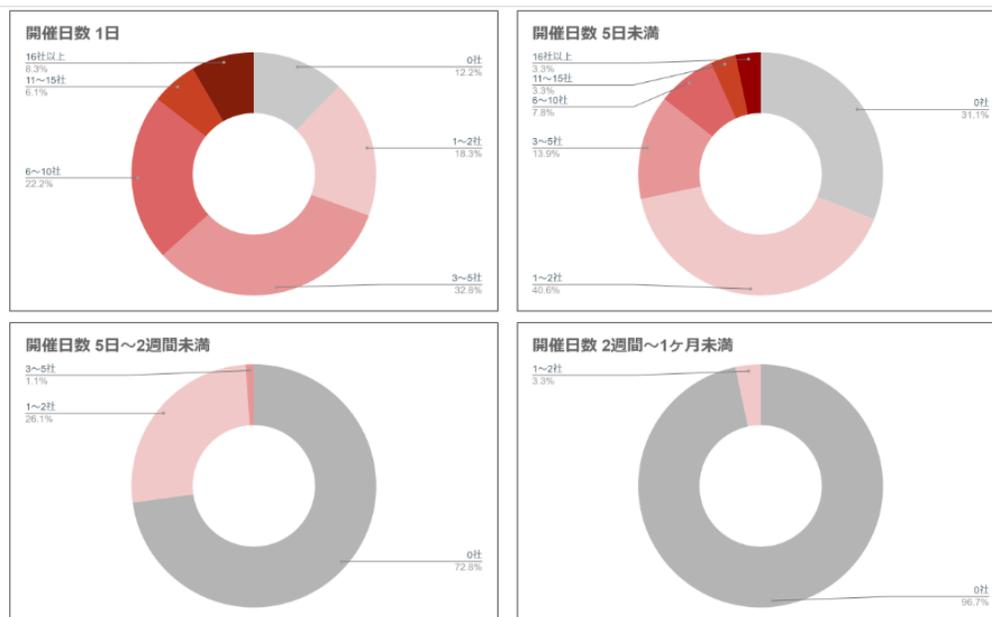
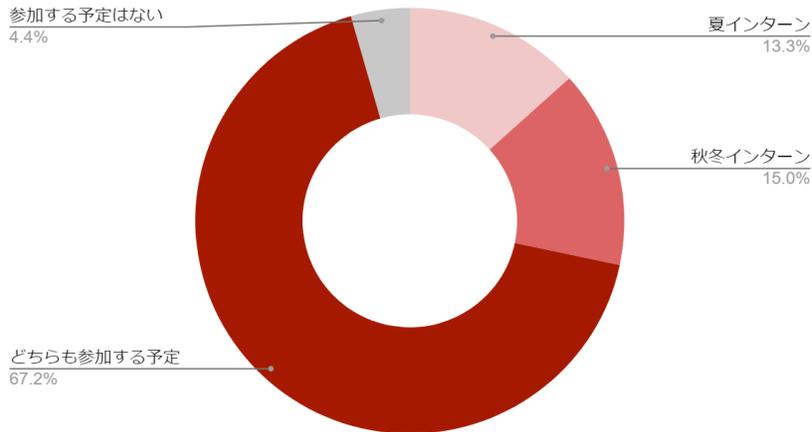
業界にかかわらず企業の魅力が伝わるようなコンテンツや、業務内容をより具体的にイメージできるような文章を入れ込む工夫は必要です。

■26卒インターン参加状況について

インターンに参加したことはありますか？



いつインターンに参加する予定ですか？



インターンに1社以上参加したことがある学生が90.6%と9割を超えました。

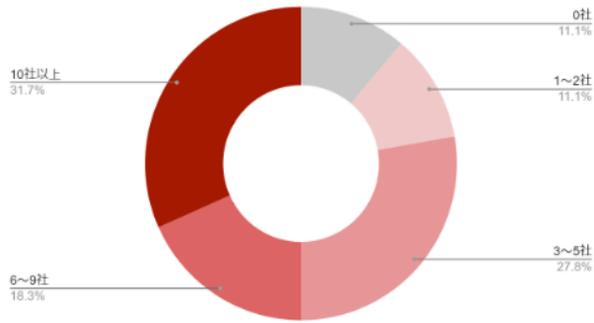
また、インターンは夏・秋冬と時期にかかわらず「どちらも参加する予定」という回答が67.2%と最も多い結果になりました。

開催日数は、1日、5日未満のインターンに複数社参加し「より多くの企業を知る」という目的の学生が多いことがわかります。学業とのバランスで長期間の参加が難しいという理由もあるでしょう。

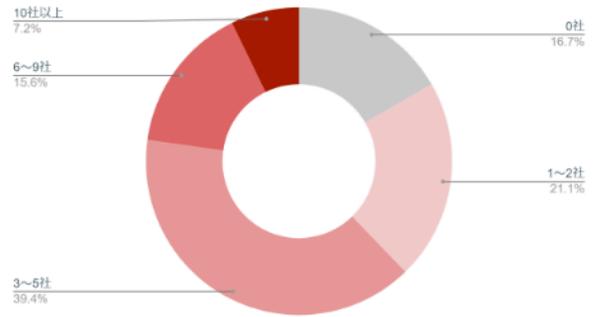
「5日～2週間未満」に参加経験のある学生が27.2%、「2週間～1ヶ月未満」に関しては僅か3.3%に留まりました。

■夏インターンと秋冬インターンについて

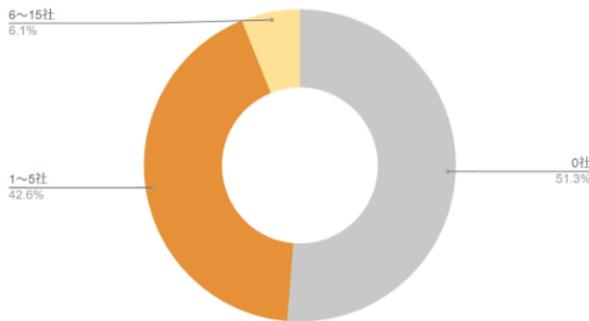
夏インターンに参加した社数を教えてください。



秋冬インターンの参加予定社数を教えてください。

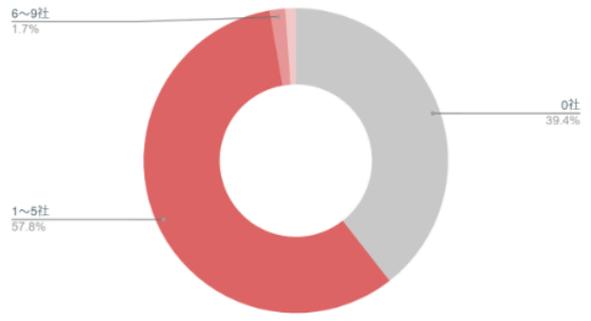


インターン参加企業の中で、すでに選考に進んでいる社数



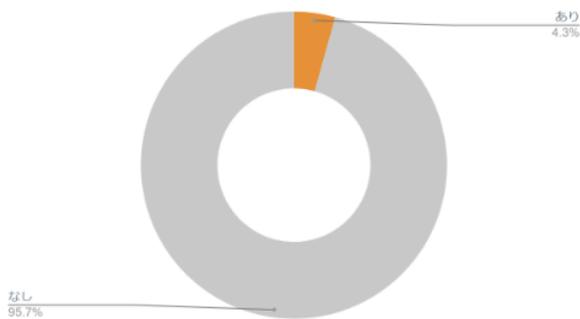
2023年9月 (25卒)
n=115

インターン参加企業の中で、すでに選考に進んでいる社数



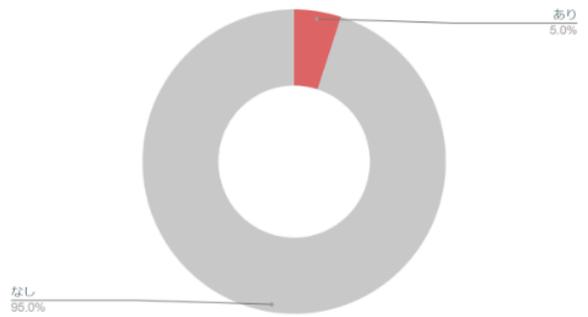
2024年9月 (26卒)

インターン参加企業からの内定獲得の有無



2023年9月 (25卒)
n=115

インターン参加企業からの内定獲得の有無



2024年9月 (26卒)

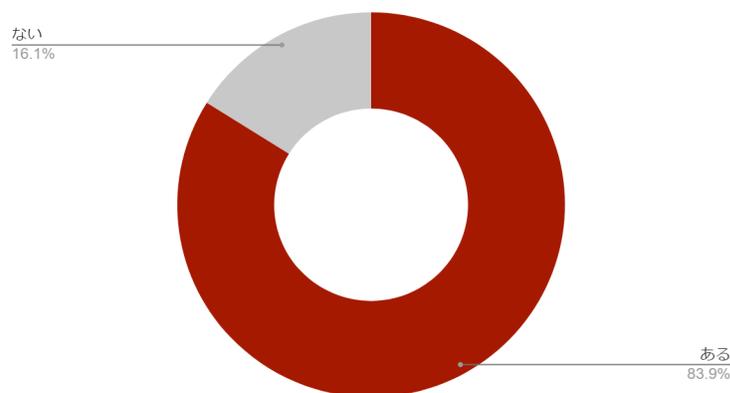
夏インターンの参加社数は10社以上という回答が多いのに対し、秋冬インターンの参加予定社数は3~5社が最も多い結果になりました。

夏インターンで多くの企業を知り就活の軸や方向性を固めたうえで、秋冬インターンはある程度企業を厳選して参加している可能性があります。

インターン参加企業の中ですでに選考に1社でも進んでいる学生は、9月時点で60.6%でした。

昨年同時期の25卒と比較すると+11.9%となり、夏インターンから選考に進むペースが早まっていることがわかります。

参加したインターンの中で、入社したいと思った企業はありますか？



入社したいと思った主な理由を教えてください。

「座談会など社員の交流を踏まえて会社の雰囲気よかった」

「人事の方が優しく業務について教えてください、入社後の教育姿勢をイメージしやすかったからです。また、社員の方々の上下関係も緩やかに感じたからです。」

「ワークで体感した業務内ようが大変興味深く、社員の雰囲気も自分とマッチしていると感じた」

「本社に5日間通い、実際の勤務イメージがついたこと。社員さんとお話する時間が長く、社風を理解できたこと。」

「説明会では分からない志望業界・業種の良い面と悪い面を、実務に携わりながら見ることができたから。現場の社員と密に交流ができたから。」

「自分の特徴や持っているスキルを社会貢献に最大限活かせる環境が整っていたため」

「参加したインターンの中で入社したいと思った企業がある」と回答した学生は8割を超えました。主な理由として、「社風」「社員の関係性」と回答した学生が最も多く、次いで「ワークを通して業務のイメージがついた」という理由が多くあがりました。

インターンに参加して真っ先に目がいくのは職場の雰囲気であり、どんな人たちと働くことになるのかはかなり重視しているようです。学生は想像以上に見ているため、人事以外の社員にも意識を高く持ってもらえるようなアナウンスや、インターンにどの社員をアサインすべきかも戦略的に考える必要があります。

また、「志望業界以外の企業にエントリーした理由」の1位でもあったコンテンツの魅力ですが、ただの説明会で終わるのではなく、インターンに参加することで「しっかり仕事内容が体感できる」というのは志望度を上げるうえでも必須になっていることがわかります。